教科 算:	時數	学年		単元のまとまりの評価規準	TEACH.
なかよしあつまれ	5	ものとものとを対応させることによって衝数を比べることというであるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数やあに 親いみ、異数で学んだことのよさや楽しさを思くを多り、【学習を指導 要領との関連 A(1)ア(ア)】	知識・技能 ・むかともからを対応させるこ とによって、ものの情報を比 べることができる。<知・技 >	思す、年齢・表現 ・報品に応じて、身のまわり のものの集合を捉えている。 <思・刊・表>	重体列に宇宙に取り掛け ・数や部に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを じながら学ぼうとしている。 悲度ン
いくつかな	8	〇10までの数及びのについて 理解し、ものの個数を正しく 数えることができるととがに、 数の大きさを具体物で放 どを用いて考え表現する力 を身につける。また、数に親 しみ、算数で学んだことのよ さや楽しさを思じながら学ぶ 観定を養う、「李客指導奏 領との関連 A(1)ア(イ(ウ)]	-10までの教及びのの意味 や、教え方、よみ方、書き か、教の大きを明序につい で理解し、教を教えたり比べ たりすることができる。く知・ 技〉	・数を用いる具体的な場面に 着目し、数の大きさや順序を 具体物や図などを用いて考 えている。〈恋・利・妻〉	・数に親しみ、算数で学ん ことのよさや楽しさを感じ がら学ぼうとしている。 < (表)
なんばんめ	4	○集合数と順序数について 実施に、個数や回義変化も のの位置を正しく数えたり乗 に、集合数と順序数の進いを 技体物や回数などを加いてきる 支表現する力を身につける。 また、数に風か、算数でき んだこのよさや楽しさを思 に学習海専規との関連 基準の理解を を を は を は に を は に を は に を は に に を は に に を は に に に に に に に に に に に に に	・価数や原書を正しく飲えた り表したりすることができる。 また、前後、ある、上下など 方向や位置についての言葉 を用いて、ものの位置を表す ことができる。〈知・技〉	・集合数と順序数を用いる長 体約な場面に著目し、それら の速いを具体物や固などを 用いて考えている。<思・利・ 表〉	・数に親しみ、算数で学ん ことのよさや楽しさを感じ が今学ぼうとしている。< (度 >
いせなんじ	1	硬となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるととした。時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ程度を養	-日常生活の中で時刻をよむ ことができる。<如・技>	・特別のよみ方を用いて、特別と日常生活を倒達づけている。<思・村・表>	・時間に親しみ、算数で字 だことのよさや楽しさを感 ながら学ぼうとしている。・ 態度>
にくっといくつ	7	の数をほかの数の初や差と してみるなど、ほかの数と関 係づけてみることができる ともに、数の合成・分類につ いて具体物や図などを用い ける。また、数に親しみ、算 数で学んだことのよさや楽し	・1つの数をほかの数の和や 差としてみるなど、ほかの数 と関係づけてみることができ る。<如・技>	・数量の関係に著語し、ある 数を含成・分解した数を含 え、それのを具体物や固など を開いて表現している。く 志・利・表ン	・動に親しみ、算数で学ん ことのよさや楽しさを感じ がら学ぼうとしている。< (変 >
ぜんぶでいくつ	9	「大学の事業を持たのである。	- 加法の意味(増加、合併)や 対について理解し、対象サイ 位数で提り上がりのない加法 の計算が確実にできる。 < 地・技>		 敷や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを している。 砂を呼ばうとしている。 砂度>
のこりはいくつ	7	○原法の意味(来院、末梢) や式について理解し、(位象 ー1位数で送所)たが3のない 譲述の計算ができるとも に、具体物や回数などを用いて 計算のしかたを考える力を 身につける。また、譲述の計 第二個しみ、実験で学んだこ とのよさや縦しきを感じなが を学ぶ聴度を考う、「学習 産事要領との関連 人277	・滅法の意味(求務、求補)や ポニンルで理解し、計算数一 位数で繰り下が少なない減法 の計量が確実にできる。 く 地・技>		 敷や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを している。 砂タぼうとしている。 砂度>
Entertatal	3	「アルコウ」なりにアリ の減法の意味(水差)や式に ついて理解し、具体物や図な どを用いて計算のしかたを考 える力を身につける。また、 減法の計算に親した・算故 で学んだことのよさや脳はを を感じなが、学ぶ現をを奏 う。「学習指導奏録との関	・滅法の意味(水差)を理解 し、式に表して計算すること ができる。く知・技>	・教皇の関係に著目し、計算 の意味や計算のしかたを考 えたり、日常法語に生かした りしている。<思・利・表>	・敷や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを じながら学ぼうとしている。 悲哀>
\$47500	1	とができる。	とができる。		
10より大きいかず	10	〇の程度までの数について 理解に、数えたり表したり比 べたりすることができるたち に、数の大きさを具体物や図 などを用いて考え表面する 力、及び繰り上がりのない。 位数と一位数の加速、減止の 計算のよか、であり、相談に か、一個数で手が、このよう であり、一個数で手が、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	*50程度までの数の数え方、 よの方、書き方、数の大きさ や銀作について理解し、数を 数えたり比べたりすることが できる。また、続り上がりのかし い地数と1位数の加速、減 油の計算ができる。<知・技 >	・数のまとまりに着目し、数の 大きさの比べ方や数ス万を 考え、それらを日常生態に生 かしている。また、縁り上がり のない対象とけ他数の加 法、滅法の計算のしかたを 考えている。く思・利・表>	・数に関しみ、算数で学ん ことのよさや楽しさを感じ がら学ぼうとしている。 < 度
かずをせいりして	2	この同地 用いた数量の表 別についての理解の基礎と かる経験を重ね、ものの個数 について、簡単な絵や図など に表したり、それらをよみ 取ったりすることができると セに、データの機能に落日し で身のまわりの事象の特徴 を授える力を身につける。ま た、数量の整理を現した。 変数で学んだことのよさや楽し まを感じながらない場合。	・ものの信頼について、簡単 な館や間などに要したり、そ れらをよみ取ったりすること ができる。く知・技>	・データの信頼に若目し、身のまわりの事業の特殊を従えている。<思・村・表>	 数量の整理に載しみ、第 で学んだことのよさや楽し を思しながら学ぼうとして る。< 包度>
かたりあそび	5	○給ぐ回答用小女童の姿 についての報知の選出 についての報知の選出 について、選出を を かったすると、かった。 かったすると、かった。 かったすると、かった。 かったすると、かった。 を が、は、それらそれ。 を が、は、それらそれ。 では、 を は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・ものの形を認め、影の特徴を知るとといこ、具体物を用いて形を作ったり分類したりすることができる。 <知・技	・もののおに苦目し、身のまわりにあるものの特徴を変え たり、具体的な操作をとおして 花の機能について考えたり している。<思・利・表>	・身のまわりにあるものの に親しみ、真教で学んだこ のよさや楽しさを感じなが 学ぼうとしている。〈態度
こうていできんすう	1	加法、滅法が用いられる場 面を理解し、文章題を解くこ とができる。	・加法、減法が用いられる場 面を理解し、文章題を解くこ とができる。		
sつのかずのたしざん、ひ きさん	4	〇3日の数の加法、源法の意味や式について理解し、具体 物や固などを用いて計算の しかたを考える力を身につけ る。また、加法、源法の計算 に親しみ、異数で学んだこと のよさや強しさを思じながら	・3口の加法、減法の意味を 理解し、式に表して計算する ことができる。<如・技>	・教皇の原体に若目し、計算 の意味や計算のしかたを考 えたり、日常生活に生かした りしている。<思・利・妻>	・数や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを じながら学ぼうとしている 思度>
たしざん	8	〇1位数十1位数で繰り上が りのある加油について理解 し、計算するこができるとと もに、具体物や図などを用い であるかである力を 身につける。また、加油の計 算に関しみ、質数で学んだこ とのよさや悪しなが ら字ぶ聴度を養う。【宇宙	- 1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算の しかたを理解し、加法の計算 が確実にできる。く知・技〉	・教皇の関係に著目し、計算 の意味や計算のしかだを考 えたり、日常生活に生かした りしている。<思・利・表>	・数や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを じながら学ほうとしている。 態度 >
ひきざん	8	学が影響を養力。【学習情 事業を記念の開催、人口の「 の「他業」は「協議」ではり上げ の「他業」は「協議」ではり上げ の「他業」は「 の」となった。「 は、異体物や間などを用して は、異体物や間などを用して は、日本のようを思しなが のようである。「 は、日本のようである。」「 は、日本のようである。」「 のあるが基本であれた。」 のあるが基本であれていて理解して のあるが基本であれた。 に、「異体やであなどを用して は、異なて多れた。 に、「 は、異なて多れた。 は、異なて多れた。 のようである。「 は、異なて多れた。 のあるのまで、「 は、異なて多れた。 のあるのまで、「 は、異なて多れた。 のようである。「 は、 のあるのまで、「 は、 のあるのまで、 は、 のあるのまで、 は、 は、 のあるのまで、 は、 のあるのまで、 は、 のあるのまで、 は、 のあるのまで、 は、 のあるのまでするれた。 のなったのな。 は、 のななのなが、 に、 のななのなが、 に、 のななが、 に、 のななが、 に、 のななが、 に、 のななが、 のななが、 に、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 に、 のななが、 に、 のななが、 のななが、 に、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のなななが、 のなななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななが、 のなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	・十何-1位数で組り下がり のある滅法の意味や計算の しかたを理解し、滅法の計算 が確実にできる。く知・技ン	・数量の関係に著目し、計算 の意味や計算のしかたを考 えたり、日常生活に生かした りしている。<思・刊・表>	・数や式に親しみ、算数で んだことのよさや楽しさを じながら学ほうとしている。 態度 >
どこにあるかな	1	指導表現との関連 A27 (アンベン・ルッパアン) 2万向からものの位置を表す ことができる。	・上下、左右、前後などの言 策を用いて、2方向からのも のの位置を要すことができ る。		
くらべかた	9	〇里の理解の基礎となる経 動を重ねて感覚を豊かにす るとともに、長さ、かさ、広さ などの豊の大きの比べ方 を考える力を身につける。ま た、身のまかりにあるものの 大きさに親しみ、算数で学ん だことのよる中海にとき出 ながら学ぶ場度を養う。【で 香指導要様との関連 C(1)ア	・長さ、かさ、広さなどの量 を、具体的な操作によって直 接比べたり、他のかのを用い て比べたりすることができ る。また、身のまわりにあるも の大きさを単位として、 なしてつ分かで大きさを比べ ることができる。く知・技>	・身のまわりのものの特徴に 着目し、量の大きさの比べ方 を見いたしている。く思・何・表>	・舟のまわりにあるものの に親しみ、真教で学んだこ のよさや楽しさを感じなが 学ぼうとしている。 < 態度
さんすうでふゆじたく	1	法、減法の計算に習熟する。	理解するとともに、繰り上が りのある加法及び繰り下がり		
大きなかず	11	○2的数までについて、十直 位数リ防能法による数の指、 いの基礎を提出、10回復 までの配を数末が見たい。 はたいすることをしまったできると とむに、数の大きなを具体的 であった。また、数に はのは、10回復の表す。 はのは、10回復の表す。 はのは、10回復の表す。 はのは、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 は、10回復の表す。 (10回復の表す。 (10回復の表す。 (10回復の表す。) (10回復の表す。 (10回復の表す。) (10回復の表す。) (10回復度の表す。) (10回復度の表す。)	のあの歳法の計算ができる。 ・治療達でについて、土産性 取り配数法による数の表し 力、数の大小・中間序を理解 するとともに、124間度までの 数を数えた対象とたりは、たり りすることができる。また、簡 単な場合について、2位数な どの加法、滅法の計算がで きる。く知・技〉	・娘の変とまりに著目し、娘の 大きさの比べ方や意力に生 有え、それらを日常生活に生 かしている。また、簡単な場 会について、必敢などの は、誠法の計算のしかたを 考えている。く思・料・表>	・酸に酸しみ、算数で学ん ことのよさや楽しさを感じ がら学ぼうとしている。 く 度 >
なんじなんぶん	3	が影皮を養力、(学習指導 関性との開業・(学習指導 関性との開業・(の表現では、 の事態についての理解の対かした)。 高の中で「同時何かかした」 は、同時に関わる主義をである。 は、同時に関わる主義をである。 しなことのような問題、(学習書等を成別を (学習書等を成別を) (学習書等を表現である。 (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。) (学習書等を表現である。)	- 日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>	・時刻のよみ方を開いて、時 刻と日常生活を開達づけて いる。く思・軒・表>	・時間に親しみ、算数で学 だごとのよさや楽しさを感 ながら学ぼうとしている。 思教 >
おなじかずずつにわけよう	1	【子当/8号 英級との同様 の2)ア(ア)、02)イ(ア)】 1つの数を多面的にみて、同 じ数のまとまりとしてみたり、 等分した数としてみたりして、 おはじきや式で表すことがで きる。	・おはじきを同じ数すつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。	・1つの数を関じ数のまとまり としてみたり、等分した数とし てみたりして、多面的に接え ている。	
どんなしきになるかな	5	○順序数の加法、減法及び 来大、来小の加法、減法の 意味や成について理解し、異 体物や関などを開いて計算 のしかたを身につける。 計方。また、加法、減法の計 事に関した。異数で学んだこ とのよさや減止さを思いなが を学る形成を養う。【宇宙 を学る形成を養う。【宇宙	・順序数の加法、減法及び求 大、求への加法、減法の意 報を理解し、試工扱して計画 することができる。<知・技 >	・教皇の際保に毎日に、計算 の意味や計算のしかたを考 えたり、日常芸術生生かした りしている。<思・何・妻>	・数や式に視しみ、算数で んだことのよさや楽しさを しながら学ほうとしている。 態度 >
かたもづくり	5	影響事情との開連、A27ア 〇年直別的の理解の基礎と なる経験を重ねて感覚を重な かったり分類化というのよう かできるとした。形の時間 を採えたり、おの情報につい で考えたり、おのまかについ で考えたり、表の表で会につい で考えたり、表の表で会につい で考えたり、表の表である。 で考えたり、表の表である。 により、自然で学 人だことのよなや楽したを感 しながら学を観度を整う。 「学習報導奏報との順連	・ものの形を認め、形の特徴 を知るとともに、具体物を用 いて形を作ったり分類したり することができる。<知・技 >	・ものの形に苦目し、身のま わりにあるものの特徴を捉え たり、具体的な操作をどれ て影の構成について考えたり している。<思・利・表>	・身のまわりにあるものの に親しみ、無敵で学んだ。 のよさや楽しさを感じなが 学ぼうとしている。く息度
		のの形に親しみ、复数で学 んだことのよさや楽しさを味			
1年のまとめ		のあがに繋があった。 のの形に関しみ、算数で学 んだことのよさや楽しさを感 じながら学が思度を養う。 【学習指導要領との関連 第1学年の学習内容の問題 を解決することができる。	-第1学年の学習内容につい て、知識及び技能を身につ けている。		